

授業科目	人体形態機能学Ⅲ (運動器学・神経学)	単位数	1 単位	講師名	非常勤講師
		時間数	30 時間		
学年	1 学年		履修期	前期	
授業の目標	1. からだを支える骨格の構造とその機能を理解する 2. 筋肉運動のしくみを理解する 3. 生命維持および人体の機能をつかさどる神経の種類とその機能を理解する				
授業内容 (授業計画)	運動器学 (15 時間)		神経学 (15 時間)		
	身体の支持と運動 (第 7 章) 運動器の構成 骨格の概要 骨の構造と機能 骨の発生と成長 骨の連結 骨と軟骨 骨格筋の構造と作用、神経支配 人体を構成する骨と筋 体幹の骨格と筋 上肢の骨格と筋 下肢の骨格と筋 頭頸部の骨格と筋 主要な関節 筋の収縮の仕組み		情報の受容と処理 (第 8 章：F～1 の感覚器は除く) 神経系の構成 神経細胞と情報伝達、神経膠細胞 中枢神経系 脳 (大脳、間脳、中脳、橋、小脳、延髄) の構造と機能 脊髄の構造と機能 脳室と髄膜 末梢神経系 脊髄神経の構造と機能 脳神経の構造と機能 体性神経系と*自律神経系 脳の高次機能 運動機能と下行伝導路 味覚、疼痛 *内蔵機能の調節 (第 6 章 A) 自律神経による調節		
評価方法	筆記試験				
注意事項					
教科書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学〔1〕(医学書院) 2. 目で見るからだのメカニズム (医学書院)				
参考図書	特記なし				